

都市再生整備計画 事後評価シート  
宝城地区

平成23年2月

福岡県 小郡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	小郡市	地区名	宝城地区			面積	500ha
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	954百万円	国費率	0.399		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		道路事業(市道二森・八坂34号線)						
	提案事業		地域創造支援事業(御原小学校給食調理室整備事業、宝城中学校校舎耐震改造事業)						
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	-			-		
		提案事業	なし	-			-		
新たに追加した事業	基幹事業	なし	-			-			
	提案事業	地域創造支援事業(農産物直売所整備事業)	地元の組織化が困難であり、計画期間内での事業が困難となったため、削除した。			影響なし			
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-			
	変更	-	-			-			
基幹事業	道路事業(市道御原・二森2154号線、市道御原・稲吉2190号線、市道上西鱒坂・平方19号線)	他地域とのアクセス性と地域内の交通環境改善を強化するため			指標「道路環境満足度」に関係するが、数値目標は据え置く。				

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	道路環境満足度	%	46	H17	56	H22	65	65	○	あり	南北線の幹線道路の整備を行った事で、久留米方面との連絡性が改善され、さらに交通安全性も高まったため、地域住民が道路整備状況アンケートに対し、満足と答えた割合の増加に寄与した。	H23.4
指標2	拠点施設の利用促進	人/月	19,000	H16	25,000	H22	28,662	28,662	○	あり	地区内の道路整備を行ったことにより、施設までの交通の利便性が向上した事が、「あすてらす」の利用者の増加に寄与した。	H23.4
指標3	地産地消	%	7	H17	14	H22	14	14	○	あり	御原小学校給食調理室の整備により、積極的にJAみい管内の地場産物が使用できるようになったため、地産地消の割合の増加に寄与した。	H23.4
指標4	耐震構造率	%	75	H17	82	H22	98	98	○	あり	平成19年度に宝城中学校校舎の耐震化調査を実施したところ、耐震性が実証され、宝城中学校校舎は避難施設として生徒や付近住民の安全性が確保でき、耐震構造率が目標に達していることが証明された。また、道路の拡幅や歩道設置などにより安全な避難路が確保され、地域全体の防災機能の向上にも寄与した。	-

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												

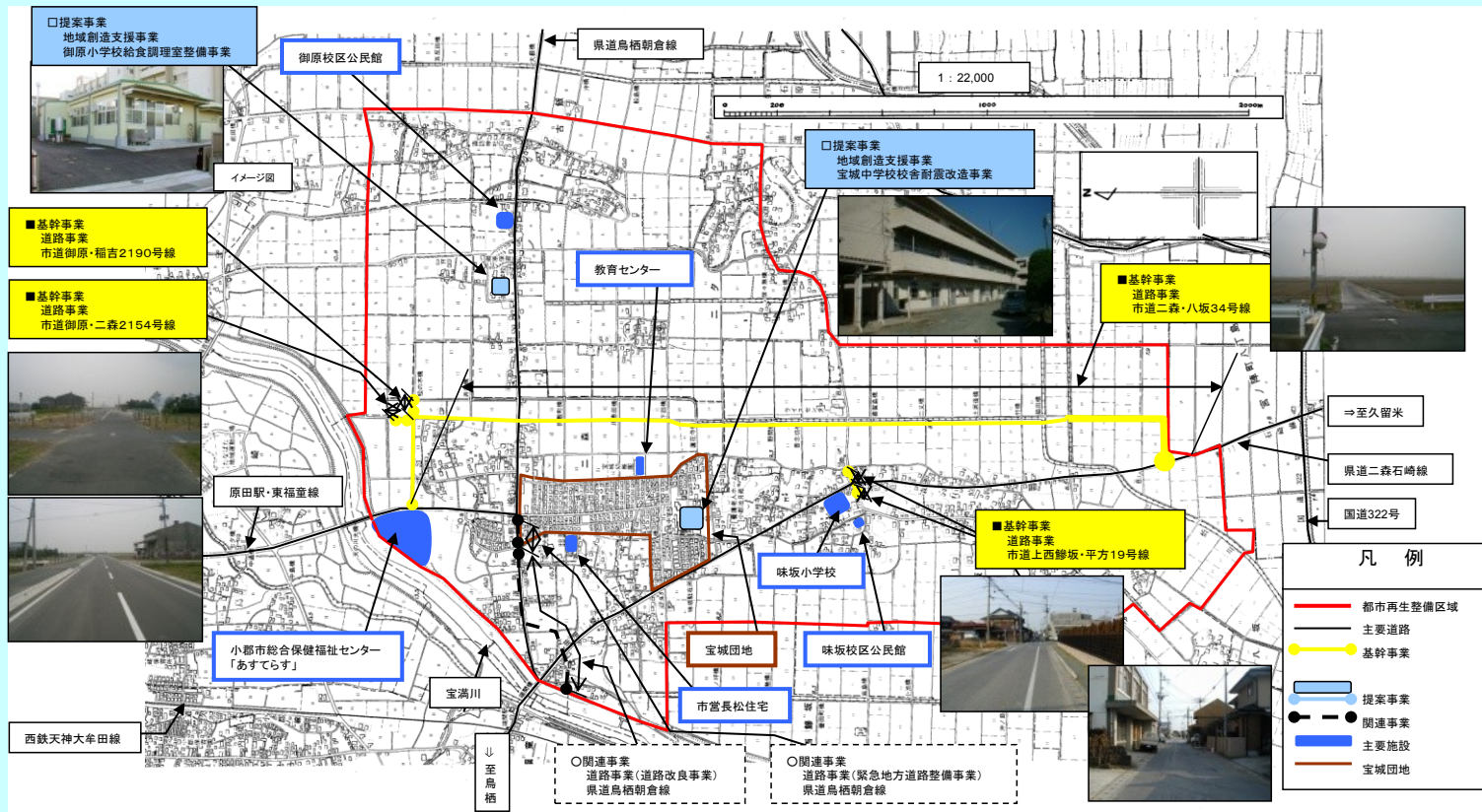
4)定性的な効果発現状況  
 御原小学校給食調理室の整備により、「JAみいの新鮮な地場産物が食べられるようになりおいしい」という声が先生方からあがっている。  
 御原小学校給食調理室には、生産者が直接、地場産物を運搬しており、子どもたちも顔をあわせることもあり、地域のコミュニケーションの向上や子どもたちへの教育面で非常に良い効果となっている。  
 道路の拡幅により、離合しやすく、安全に通行できるようになったという意見があがっている。  
 耐震性が実証されたことにより、災害時に安心して2階に誘導することができるようになった。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
5)実施過程の評価	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	-	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-	
5)実施過程の評価	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	-	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-	
5)実施過程の評価	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	-	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-	

## 様式2-2 地区の概要

宝城地区(福岡県小郡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 人が集う快適安心なまちづくり	道路環境満足度	46	56	65
目標1 他地域との交通アクセス、連絡性の強化と地域内の交通環境の改善	拠点施設の利用促進	19,000	25,000	28,662
目標2 地域の活力を増進するための地産地消及び「ひと」と「ひと」の交流推進	地産地消	7	14	14
目標3 安心安全なまちづくりのための公共施設の耐震構造化の推進	耐震構造率	75	82	98



**まちの課題の変化**

- 宝城団地内の通過交通量が多く交通安全性が低かったため、市道二森・八坂34号線的全線開通により、宝城団地内の通過交通が減少すると予想されるが、市道二森・八坂34号線と県道二森石崎線の連続性が課題となっている。
- また、全線開通により交通量の増加が予想され、交差点等の安全対策が課題となっている。
- 地域内の住民の道路環境満足度が低かったため、交差点改良を実施したが、見通しが良くないことが課題となっている。
- 安心安全なまちづくりとして、公共施設の耐震性の向上を図り、耐震性が実証されたが、地域内には耐震性が実証されていない公共施設があることが課題となっている。

**今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)**

- 地域住民が主体となった交通安全パトロール活動の活性化や、自主防災組織の立ち上げを推進し、行政は後方支援を行っていく。
- 地元生産者の生産意欲を高めるため、今後も継続して、学校給食にJAみい管内の地場産物を積極的に使用していく。
- 道路の連続性を良くし、より道路環境の向上を図る。
- さらなる良好な道路環境を目指し、信号などを設置し、交通安全の向上に努める。
- より安心して活用できる避難所の増加をはかるため、地域住民への災害時避難施設の周知徹底を図る防災マップの作成を検討する。